

愛知県がんセンターの「初診患者を対象にしたがん遺伝子多型と環境要因の交互作用の研究」にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、遺伝子データ解析の対照群（コントロール群）として愛知県がんセンターの「初診患者を対象にしたがん遺伝子多型と環境要因の交互作用の研究」にご参加いただいた方の遺伝子データ（ゲノムデータ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方で遺伝子データ（ゲノムデータ）を下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ（ゲノムデータ）が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

| | |
|---------------------------------|--|
| 研究の名称（研究番号） | 網膜変性症の遺伝子診断ネットワークの構築（G0746） |
| 研究の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ● 網膜色素変性患者の既知の遺伝子や全ゲノムの遺伝子配列を調べることにより、新規の疾患関連変異を同定する。 ● 既知・新規の遺伝子変異を調べることにより網膜色素変性の確定診断を行う。 ● 多施設での遺伝子診断体制を整える。 |
| 当大学研究責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 ● 大学院医学研究科眼科学教授 辻川明孝 |
| 共同研究機関及び各機関の研究責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ● 先端医療センター病院眼科部長 高橋政代 ● 産業医科大学眼科学教授 近藤寛之 ● McGill 大学 Québec ゲノムイノベーションセンター（カナダ） Mark Lathrop |
| 研究期間 | 2025 年 6 月 30 日まで |
| 利用する試料・情報の項目 | DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報 |
| 試料・情報の利用目的・方法 | 網膜色素変性を発症している被検者のゲノム情報と発症していない被検者（愛知県がんセンターの「初診患者を対象にしたがん遺伝子多型と環境要因の交互作用の研究」の被検者）のゲノム情報を比較解析することにより疾患に関連する可能性のある遺伝子変異を特定する。 |
| 他の研究機関への試料・情報の提供 | McGill 大学（上記）に網膜色素変性症患者のゲノム情報を提供（網膜色素変性症を発症していない被検者は提供対象外）。 |
| 試料・情報管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 ● McGill 大学 Québec ゲノムイノベーションセンター（カナダ） Mark Lathrop |
| 問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください） | <ul style="list-style-type: none"> ● 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 電話：075-751-4157 ● 京都大学医学部附属病院 相談支援センター 電話：075-751-4748 E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp |